東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１１年12月９

イスラームの五つの原則

親愛なるムスリの様

親愛なるムスリムの皆様。崇高なる教えイスラームは、最も尊い被造物として創造された人間がこの世界で安らぎと安全のうちに生きることができるよう、次の五つの原則を守ることを命じています。人類にとって不可欠なものとされる原則は以下のとおりです。

生命の保護、知の保護、宗教の保護、次世代の保護、財産の保護です。今日人類がほかの何よりも必要としているこの普遍的原則を解説し、一緒にみていきましょう。

生命の保護：人の最も尊いものはその命です。そしてすべての生命は保護のもとにあります。人は自分の命を危険にさらす行為をとることができないように、他者の命を危険にさらす行動にでることはできません。崇高なるアッラーはクルアーンで「またあなたがた自身を、殺し（たり害し）てはならない。誠にアッラーはあなたがたに慈悲深くあられる。」（婦人章第２９節）と命じられ、自分たち自身に物質的・精神的な害を与えることを禁じられています。

知の保護：人に与えられ、人を他の被造物よりもすぐれた存在としている最大の恵みが知性です。知性は人に宗教的・人間的な責任を負わせ、人もまたこの責任を認識し、知性に害を及ぼすようなあらゆる薬物や、酩酊させるようなあらゆる種類の悪い習慣から遠ざかる必要があります。預言者

ムハンマドは「アッラーは酒におぼれ悔悟しない者に天国の飲み物を飲ませられない」とおっしゃられ、知性に害を及ぼす悪い習慣を持つ者の先行きを告げておられます。

宗教の保護：私たちへの信託である教えのメッセージをよく理解し、それにおうじてふるまう必要があります。教えを保護することは、それに何かを付け加えたり逸脱したりすることを避け、まっとうな形で実践し、そのために努力することによって可能となります。クルアーンでは「それであなたはあなたの顔を純正な教えに、確り向けなさい。アッラーが人間に定められた天性に基いて。アッラーの創造に、変更がある筈はない。それは正しい教えである。だが人びとの多くは分らない。」（ビザンチン章第３０節）と命じられ、真の方向が示されています。

次世代の保護：次世代の保護は、一つの民族の存続のための第一の保障です。過去の預言者たちも、クルアーンで語られているように、アッラーに信仰するよい子孫を求めていました。ここからも理解されるように、健全でしっかりした次世代を育成することは私たちの将来にとってこの上なく重要です。私たちが育成する次世代が

悪い事柄から遠ざかり、教育を受け、高い意識を持ち、祖国や民族の役に立とうという責任感を備えた世代であるべきなのです。

　財産の保護：現世での最も重要な試練の一つが財産です。私たちの教えは、財産の保護における注意深さに重きを置き、合法な利益を得ることによってこれを実践することができると教えています。預言者ムハンマドは不正な財産を手にすることを禁じられ、私たちを怖がらせるような警告をなされています。ハディースでは「誰から他者の財産を不正に

　搾取すれば、アッラーは来世で罰によって応えられる」と仰せられています。

今日のフトバを要約によって締めくくるなら、イスラームの教えはあらゆる人の名誉、尊厳、自由、宗教、財産、そして生命を保障し、現世で愛情と信頼のうちに生きることを可能としています。私たちがなすべきことは、崇高なる主のこの原則を守り、それにしたがって行動することなのです。

。